

CO₂ ネットゼロに向けた県庁率先行動計画(CO₂ ネットゼロ・オフィス滋賀) 令和3年度取組結果概要

滋賀県 CO₂ ネットゼロ社会づくり推進計画(以下「推進計画」という。)では、滋賀県 CO₂ ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例(令和4年滋賀県条例第7号。以下「条例」という。)第9条に基づき、温室効果ガス排出量の実績値および実施した取組の実施状況をとりまとめて公表することとしています。

令和3年度(2021 年度)の県機関における温室効果ガス排出量の実績値や取組状況の概要は、次のとおりです。

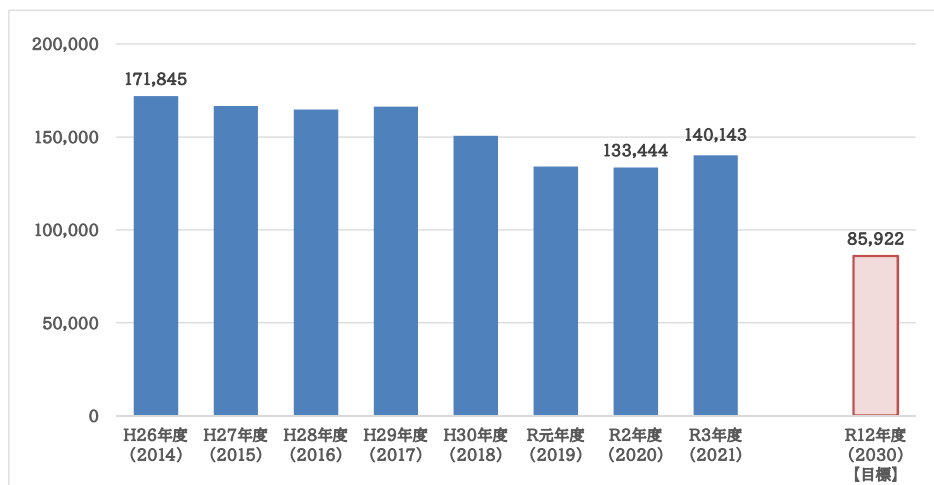
なお、令和4年3月に改定した推進計画において、2030 年度の目標を見直し、下水道施設も含めたことから、温室効果ガス排出量等も下水道施設を含めた実績値に変更しています。

目標:温室効果ガス排出量を 2030 年度に 2014 年度比で 50%減

1 温室効果ガス排出量

項目	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	対前年度比	H26(2014)比
		2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021		
温室効果ガス排出量	t-CO ₂	171,845	166,560	164,738	165,197	150,553	134,060	133,444	140,143	5.0	▲ 18.4
二酸化炭素		138,281	134,247	133,714	133,181	118,441	101,240	100,514	106,940	6.4	▲ 22.7
メタン		3,457	3,522	4,072	4,051	4,113	4,196	4,644	4,396	▲ 5.3	27.2
一酸化二窒素		30,086	28,769	26,930	27,942	27,976	28,601	28,263	28,785	1.8	▲ 4.3
ハイドロフルオロカーボン		21	23	23	23	23	23	23	23	▲ 2.2	6.1

※1 電気の排出係数は、H26 : 0.521、H27 : 0.529、H28 : 0.503、H29 : 0.505、H30 : 0.435、R1 : 0.356、R2 : 0.357、R3 : 0.382 (単位 kg-CO₂/kWh) と変動。
※2 平成 26 年度の一酸化二窒素には六フッ化硫黄 10t-CO₂分を含む



○温室効果ガスの排出量は、140,143t-CO₂、基準年度比で 18.4%減、前年度比で 5.0%増となりました。前年度より電気の排出係数や施設利用割合が増加したことなどが主な要因と考えられます。

2 エネルギー使用量等

(1) エネルギー使用量

項目	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	対前年度比	対H26 (2014)比
		(2014)	(2015)	(2016)	(2017)	(2018)	(2019)	(2020)	(2021)		
エネルギー使用量	GJ	2,570,879	2,472,164	2,561,354	2,537,381	2,532,122	2,514,581	2,494,841	2,540,583	1.8%	▲ 1.2%

○エネルギー使用量は 2,540,583GJ、基準年度比で 1.2%減、前年度で 1.8%増となりました。全体的に横ばい傾向にあります。

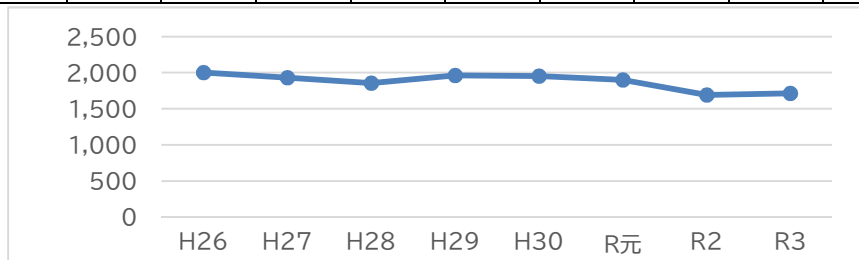
(2)燃料使用量

項目	年度	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R元 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	対前年度比	対H26 (2014)比
電気	kWh	202,151,470	200,205,805	205,683,854	207,128,227	207,582,481	207,124,714	209,853,007	210,551,864	0.3	4.2
都市ガス	m ³	8,887,310	8,205,157	8,882,674	7,996,298	7,944,787	7,853,577	7,190,663	7,596,434	5.6	▲ 14.5
液化石油ガス	t	405	336	383	382	346	361	388	399	2.8	▲ 1.4
灯油	L	1,783,053	680,322	887,145	909,293	791,303	689,242	717,628	751,080	4.7	▲ 57.9
A重油	L	818,326	766,874	807,105	833,774	806,322	791,121	760,183	739,965	▲ 2.7	▲ 9.6
ガソリン	L	1,660,142	1,590,554	1,520,450	1,528,228	1,493,744	1,443,287	1,372,099	1,372,354	0.0	▲ 17.3
軽油	L	402,140	394,203	395,211	430,815	510,518	505,472	370,580	381,061	2.8	▲ 5.2
ジェット燃料	L	166,015	168,296	136,169	124,280	164,275	138,717	148,954	154,183	3.5	▲ 7.1

○前年度に対しA重油を除いたすべての項目で微増しました。電気の使用量は基準年度(H26年度)に対して4.2%の増加となり、全体的な傾向として漸増しています。R3年度の増加については、下水道施設の放流量増加やコロナ禍での施設利用の回復などが要因と考えられます。

(3)公用車燃料使用量

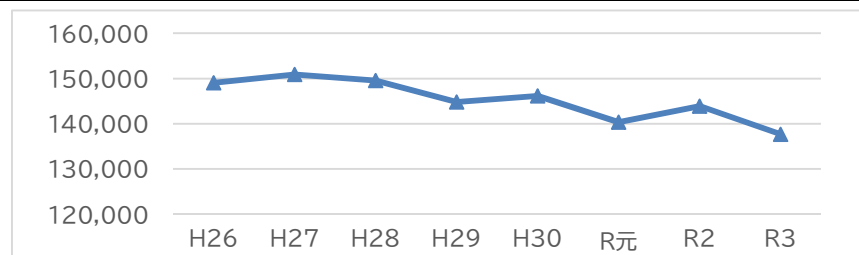
項目	年度	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R元 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	対前年度比	対H26 (2014)比
公用車燃料使用量	KL	2,002	1,929	1,857	1,962	1,952	1,898	1,692	1,713	1.3%	▲14.4%
ガソリン	KL	1,642	1,572	1,502	1,515	1,476	1,425	1,354	1,357	0.2%	▲17.4%
軽油	KL	359	357	354	447	476	472	337	356	5.6%	▲1.0%



○全体的には減少傾向にあります。Web会議やオンライン研修会等の普及、浸透による出張機会の減少が一定落ち着き、当年度は微増したと考えられます。

(4)用紙購入量

項目	年度	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R元 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	対前年度比	対H26 (2014)比
用紙購入量	千枚	149,082	150,917	149,515	144,818	146,166	140,355	143,922	137,656	▲4.4%	▲7.7%
PPC(普通紙)購入量	千枚	145,173	148,365	147,862	142,927	145,614	140,020	143,629	137,578	▲4.2%	▲5.2%
更紙購入量	千枚	3,909	2,552	1,653	1,891	552	335	293	78	▲73.4%	▲98.0%



○前年度に対して4.4%の減少となりました。コロナ禍でのWeb会議等の浸透に伴い、確実に電子化やペーパーレス化が推進されていると考えられます。